

東洋学研究情報センター共同研究課題研究成果最終報告書

1. 研究課題名

政治的リスクと人の移動: 中国大国化をめぐる国際共同研究

2. 申請研究者

(氏名) (所属)
加茂 具樹 慶應義塾大学総合政策学部・准教授

3. 申請者以外の共同研究者

(氏名) (所属)
蕭 新煌 中央研究院社会学研究所・特聘研究員、所長
陳 志柔 中央研究院社会学研究所・副研究員
呉 介民 中央研究院社会学研究所・副研究員
朴 濬植 翰林大学校社会科学大学社会学科・教授
Fabian J. Froese ゲッティンゲン大学人的資源管理・アジアビジネス講座・教授
園田 茂人 東京大学東洋文化研究所新世代アジア研究／東洋学研究情報センター・教授
李 賢鮮 東京大学東洋文化研究所新世代アジア研究部門・准教授

4. 研究期間

平成25年4月1日から平成27年3月31日(2年間)

5. 課題の概要(600字程度)

地政学的変化は、社会科学の再編成を惹起する。冷戦体制のもとで近代化研究が進み、日本の高度成長によって日本研究から多くの魅力的概念が提示されたように、中国の大国化はさまざまな社会科学的な研究テーマを生み出し、新たな秩序形成の過程で新たな概念や分析枠組み、理論が作られつつある。中国モデルや北京コンセンサス論などは、その代表的なケースだが、政経分離を前提に日本や台湾との交流強化をめざす中国の姿は、新しい研究課題群を生み出しつつある。

台湾では「台商研究」と呼ばれる研究群が生まれ、中国大陸に渡った台湾人に関する総合的な研究がなされつつある。日本でも、ビジネスや留学、観光を通じた人的交流が盛んになっていることをベースにした研究群が生まれているが、その際、必ずしも比較研究が十全に行われているわけではない。1990年代以降、中国への投資を加速化させている韓国や、アジアから少し距離を置いているドイツなどとの比較は、中国台頭のチャンスとリスクをどう見積もり、経済的にどのような関係を構築しようとしているかを考える、きわめて魅力的な研究テーマとなっている。

東洋文化研究所は、中央研究院社会学研究所と4年にわたる研究交流を続けてきたが、従来の共同ワークショップの共催から、より焦点をもった共同研究へとシフトし、中国との人的移動をめぐる国際共同研究を本格始動させたい。その成果は、所内でのワークショップや国際学会などで紹介されることになる。

6. 研究成果の概要(600字程度)

中国の台頭が、周辺地域の企業にとって大きなチャンスと映じている点では共通している。しかし、企業も、その進出時期や国家間関係、地政学的要因、企業規模などの影響を受けつつ、中国の政治リスクを評価することになる。日本企業の場合、1980年代から中国ビジネスが始まり、その記憶が1990年代にも継承されつつ、複雑な所有形態の中で日中共同事業が進められることになる。最初のうちは共産主義への恐怖があったのが、徐々にこの意識が薄れる一方、中国のもつ「官本位」体制が、巨大なリスクと認知されるようになる。これが2000年代になり、日中関係が緊張する中で、反日リスクが意識されるようになり、現在に至っている台湾の場合、対中投資は中台関係の政治的文脈を逃れることができない。中小企業中心の対中進出は、個人人間関係に依拠したリスク回避に向かいがちで、これが逆に政治リスクを肥大化する傾向がある。対中投資の失敗も、比較的容易に政治化される傾向にあるのに対して、韓国の場合、多くの失敗事例があるにもかかわらず、中国の政治リスクはあまり強く意識されず、政治化することもない。それどころか、日本企業が中国市場をうまく活用できない状況を逆手に取り、これをビジネスチャンスととらえる傾向が強い。このように、同じ中国の台頭に直面しつつも、日韓台の企業が異なる対中政治リスク認識を抱いていることが、共同研究で明らかになったのは大きな成果である。

7. 公開済み(または予定の)具体的な成果物(データベース、論文、著作本、出版物等)

Shigeto Sonoda, Hong-Keung Jand, and Joon-shik Park, 2014, "A Comparative Fieldwork Study on the Korean, Japanese, and Taiwanese Multinational Managers as a Significant Factor of Global Corporate Competition in China", *Korean Regional Sociology*, Vol. 15, No.3, pp. 155-195

園田茂人, 2014, 「序言」『アジア研究』第60巻第3号, 1-2ページ,

Shigeto Sonoda, 2014, "Chronology of 30 Years of Japanese Multinationals in China", 『アジア研究』第60巻第3号, 3-15ページ

Joon-shik Park and Hyun-Sun Lee, "Perceptions of Korean Big Business on the Emergence of China", 『アジア研究』第60巻第3号, 16-30ページ

Chih-Jou Jay Chen, "Taiwanese Business in China: Encountering and Coping with Risks," 『アジア研究』第60巻第3号, 16-47ページ

Hsin-Huang Michael Hsiao, "Comment: Political Risks as Perceived by Businessmen from Japan, Taiwan, and South Korea in China: A Preliminary Comparison," 『アジア研究』第60巻第3号, 48-54ページ